

関係各位

2013年 1月11日
東北放送株式会社

宮城県をエリアとするV-Lowマルチメディア放送の実験試験局に「本免許」が交付されました

東北放送株式会社（本社：宮城県仙台市太白区、代表取締役社長：一力敦彦、以下 東北放送）は、総務省・東北総合通信局（局長：富永昌彦）より、本日付でV-Low（ヴィロー）マルチメディア放送に係る「実験試験局の本免許」の交付を受けました。

この実験試験局は、仙台局および気仙沼局の2局からなり、インターネット通信規格を放送波で伝送可能となる技術・IPDC（IPデータキャスト）などの実証実験を行うものです。

東日本大震災で情報伝達の重要性が再認識され、「公共情報 commons（一般財団法人マルチメディア振興センター）」の普及促進が進められているところです。本実証実験においても、既存メディア（放送、通信、電話、防災行政無線など）との相互補完を行い、輻輳（ふくそう）が発生しない放送波の特徴を活かした、災害時における住民への確実かつ迅速な情報伝達について、地方自治体や防災機関と連携しながら検証を行っています。なお、宮城V-Lowマルチメディア放送実験協議会（事務局：東北放送）が実験の運営主体となり、実証実験を実施しています。

○V-Lowマルチメディア放送とは

地上テレビジョンのデジタル化に伴い利用可能となる周波数を用いて実現を図る新たな放送で、90MHz～108MHzの周波数（旧アナログテレビジョンの1ch～3chに相当）を使用するもの。

○免許の概要

免 許 人	東北放送株式会社（仙台市太白区八木山香澄町26-1）	
識 別 信 号	みやぎせんだいぶいろうじっけん	みやぎけせんぬまぶいろうじっけん
(1)電波の型式	3M04 X7W	3M04 X7W
(2)周波数	91.857142MHz	95.285714MHz
(3)空中線電力	1kW	10W
無線設備の設置場所	仙台局：仙台市太白区八木山香澄町	気仙沼局：気仙沼市松崎上金取
免許の年月日	平成25年1月11日	
免許の有効期間	平成25年3月31日	

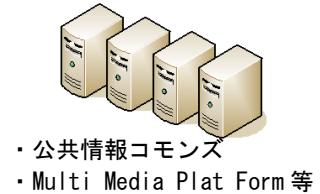
○実証実験の概要

- (1) 音声ラジオの有効的な利活用
- (2) インターネット通信規格を利用した、災害情報の高度で多様な提供方法
- (3) 自治体との連携ルールと標準規格化
- (4) ファイル蓄積を利用した、住民への迅速、正確な情報伝達
- (5) エリアワンセグ放送やWiFiとの連携による到達力の強化
- (6) ネットとの融合分野での新サービス開発
- (7) 過疎地などのためのアプリケーション開発

○送信所および受信想定エリア、実証実験のイメージ



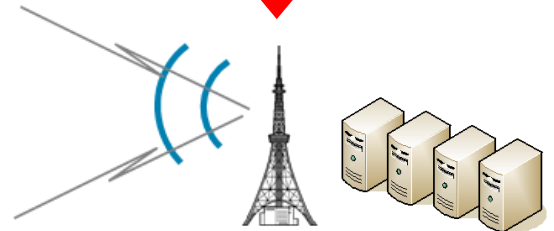
- 自治体担当者等
- J-ALERT等
- ・避難勧告、避難指示
- ・災害時の各種お知らせ等
- 緊急地震速報
- 津波情報等



- ・公共情報commons
- ・Multi Media Plat Form等

情報の変換

文字や音声による情報提供など



- ・CMS、IPDC配信システム等
- ・放送、送信設備等

◆気仙沼局(中継局)

- ・アナログテレビ鉄塔を(長の森山)使用
- ・出力10W
- ・気仙沼市で実証実験を実施



<参考として>

- ※県内世帯カバー率 2.3%
- ※平成17年国勢調査による宮城県世帯数(865,200世帯)で算出

◆仙台局(親局)

- ・アナログテレビ鉄塔を(八木山)使用
- ・出力1kW
- ・名取市ほかで実証実験を実施



<参考として>

- ※県内世帯カバー率67.1%
- ※平成17年国勢調査による宮城県世帯数(865,200世帯)で算出



<受信端末①>

- ・Androidタブレット10.1型
- ・Androidアプリケーション
- ・USB ドングルV-Low チューナー



<受信端末②>

- ・安心安全端末
- ・ACおよび電池駆動
- ・V-Low チューナー、アンテナ一体型

以上

<本件に関するお問い合わせ>

- ◆実験について: 東北放送 技術局メディア開発部 担当 吉田 (宮城V-Lowマルチメディア放送実験協議会事務局)
- ◆免許について: 東北放送 技術局技術管理部 担当 増田

東北放送株式会社

〒982-0831 宮城県仙台市太白区八木山香澄町26番1号

電話: 022-229-1111 (代) / 022-229-1682 (メディア開発部) / 022-229-1724 (技術管理部)